

【グランシップ全館リニューアルオープン記念】 **小曽根真 Christmas Jazz**
グランシップ プレミアム・クリスマス・ジャズ・ライブ

OZONE 60

‘THE SONGS’

Special Guest



小野リサ
(ヴォーカル、ギター)

©Shinji Hosono

小曽根真
(ピアノ)



©Kazuyoshi Shimomura



中川英二郎
(トロンボーン)



中山拓海
(サクソ)



石川紅奈
(ベース)



高橋信之介
(ドラム)

©Shumpel Ohsugi

60歳を迎え、さらなる進化を続ける小曽根真が贈るジャズ・スピリットに満ちたステージ。
小野リサの柔らかなギター・ヴォーカルが溶け合う
至福のコラボレーションも。

全席
指定

一般6,500円 子ども・学生1,000円

※子ども・学生は28歳以下の学生、未就学児入場不可
※グランシップ友の会会員特典対象事業
※「静岡県高校生アートラリー」対象事業

グランシップ友の会先行販売:9月19日(日)~25日(土) 一般発売:9月26日(日)~

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本公演を変更・中止する場合があります。
必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。

チケット販売・お問い合わせ

グランシップチケットセンター

TEL.054-289-9000 (10:00~18:30/休館日を除く)

グランシップホームページからも購入できます。(コンビニ取手数料無料)

グランシップ

検索

<https://www.granship.or.jp/>



2021年12月10日 金 19:00開演 (18:15開場)

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

主催:公益財団法人静岡県文化財団、静岡県
後援:静岡県教育委員会、静岡市教育委員会



人生の節目を迎え、ますます充実した表現力で音楽への挑戦を続ける小曾根真。
自身にとって特別な年である2021年に贈るのは、書下ろしの曲のほか、
小野リサのギター・ヴォーカルと奏でられる名曲の数々。
冬のひと時、音楽で心が満たされる特別な時間をご一緒に。

小曾根 真(ピアノ) Makoto Ozone (Piano)

1983年パーカー音大ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年グラミー賞ノミネート。チック・コリア、ゲイリー・パートン、ブランフォード・マルサリス、バキート・デリベラなど世界的なプレイヤーとの共演や、ビッグ・バンドの活動など、ジャズの最前線で活躍。また、クラシックにも本格的に取り組み、NYフィル、サンフランシスコ響など国内外のオーケストラと共演を重ねている。

2019年、小曾根真featuring No Name Horses 15周年記念アルバム、「Until We Vanish」をリリース。2021年には還暦を迎え、「OZONE60」と題したプロジェクトを、3月25日の誕生日に行ったサントリーホールでの記念リサイタルを皮切りに全国都道府県に向けて展開している。

平成30年度紫綬褒章受章。オフィシャル・サイト <http://makotoozone.com/>



©Kazuyoshi Shimomura



©Shinji Hosono

小野 リサ(ヴォーカル、ギター) Lisa Ono (Vocal, Guitar)

Brazilian-born, 10 years old in childhood, she spent her childhood in Brazil, grew up, and started singing and playing guitar from 15 years old. In 1989, she debuted with a natural singing voice, a rhythmic guitar, and a charming smile, and her popularity spread throughout Japan.

ブラジル・サンパウロ生まれ。10歳までの幼少時代をブラジルで過ごし、15歳からギターを弾きながら歌い始める。1989年デビュー。ナチュラルな歌声、リズムカルなギター、チャーミングな笑顔で瞬く間にボサノバを日本中に広める。

ボサノバの神様 アントニオ・カルロス・ジョビンや、ジャズ・サンバの巨匠 ジョアン・ドナトら著名なアーティストとの共演や、ニューヨークやブラジル、アジア各国での公演も積極的に行っており、海外においても高い評価を得ている。1999年アルバム「ドリーム」が20万枚を超えるヒットを記録するなど、これまでに日本ゴールドディスク大賞「ジャズ部門」を4度受賞。2013年にはブラジル政府よりリオ・ブランコ国家勲章を授与される等、日本におけるボサノバの第一人者としてその地位を不動のものとしている。

中川 英二郎(トロンボーン) Eijiro Nakagawa (Trombone)

5歳でトロンボーンを始め、高校在学中に初リーダー作をニューヨークで録音。ビッグ・アーティストとの共演を始め、映画、CM、TVなど多くの録音でも知られる。2008年NHK連続テレビ小説「瞳」のメインテーマを演奏。2018年「スライド・モンスターズ」を結成。2019年「International Jazz Day」出演。国内主要オーケストラとも共演を重ねるなどジャンルを超えた多彩な才能を発揮し、日本を代表する世界的トロンボーン奏者として活動している。



©Simon Yu

中山 拓海(サクソフーン) Takumi Nakayama (Saxophone)

静岡県富士市出身。国立音楽大学を首席で卒業。ロサンゼルスで開催されたグラミー主催、「グラミーキャンプ」に日本代表として全額スカラシップを受け参加。多国籍ジャズ・オーケストラAsian Youth Jazz Orchestraにてコンサートマスターを務め、アジア六カ国でツアーを行う。2019年12月CD「たくみの悪巧み」でキングインターナショナルよりメジャーデビュー。

株式会社JAZZ SUMMIT TOKYO代表取締役。



©Yoshihiro Mori

石川 紅奈(ベース) Kurena Ishikawa (Bass)

埼玉県出身。高校のジャズバンド部をきっかけに、ジャズに出会う。そこで弾くことになるウッドベースという楽器の音色や質感に惹かれ、弾き続ける事を決意する。国立音楽大学ジャズ専修にて、井上陽介氏、金子健氏にウッドベースを師事。大学卒業後にはボーカルを高島みほ氏に師事し、現在はベースの弾き語り、ボーカリストでの活動、さまざまな形で演奏活動を行っている。



高橋 信之介(ドラム) Shinnosuke Takahashi (Drums)

洗足学園短期大学ジャズコース在学中にプロデビューし、山下洋輔(Pf)、辛島文雄(Pf)、伊藤君子(Vo)等のバンドで演奏。初リーダーアルバム「Rumination」をリリースした後、ニューヨークに活動の拠点を移しEric Lewis(Pf)、Marcus Printup(Tp)、Don Friedman(Pf)、Lew Tabackin(Sax, Flute)、秋吉敏子(Pf)、Eric Person(Sax)のバンド等で活躍。

株式会社JAZZ SUMMIT TOKYO代表取締役。



©Shunpei Ohsugi

《お客様へのお願い》

- ・発熱または風邪の症状がある方は、ご来場をお控えください。
- ・会場内でのマスク着用、検温、手指のアルコール消毒にご協力ください。
- ・会場内では会話をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本公演を変更・中止する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。

交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接。
- ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
- ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
- ・車では、東名高速道路静岡I.C.から20分。日本平久能山スマートI.C.から10分。新東名高速道路新静岡I.C.から15分。静岡バイパス千代田上土I.C.から10分。

車椅子でご来場の方は公演前日までにご連絡ください。

【車椅子での来場のお問い合わせ】

(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL.054-203-5714



グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
<https://www.granship.or.jp/>

